

Color Variation

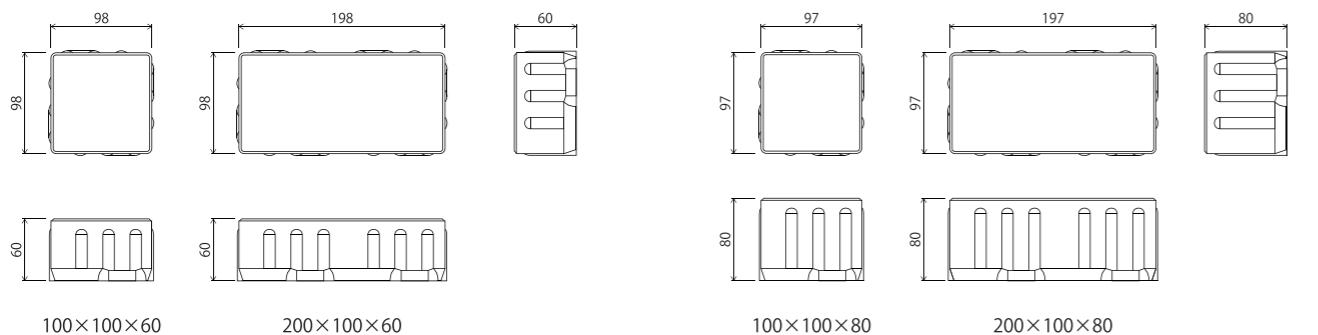
LAERA



サンバリア／ブライト／ファイン にも対応

- * 上記のほか、研磨品などあらゆる仕上げに対応致します。
- * 製品の色は印刷のため、実際の色調とは異なる場合があります。
- * セメント製品は現場環境によって白華が発生する場合があります。

Product Information



型式	規格寸法 (mm)	使用量 (個/m)	重量 (kg/個)
S-1	200×100×60	50	2.2
S-1	200×100×80	50	2.8
S-2	100×100×60	100	1.1
S-2	100×100×80	100	1.4

* Revolは受注生産品です。詳細は営業担当までお問い合わせ下さい。

* 上記にない200×200等は今後追加予定です。



LA-BLOCK シリーズ vol.2

インターロッキングブロック舗装を より強くする新機能構造ブロック

インターロッキングブロック舗装は、グリーンインフラの観点や長寿命化に対して有効な舗装材です。製品の優位性が高く、景観性においても優れています。目地砂・敷砂と端部拘束、路盤構成がしっかりしていれば、長期に渡り現在のILBでも十分な結果が出ております。

「レボル」は、通常ILBの耐荷性能を向上させ、不陸やガタツキをより一層起りにくくし、長期に渡り平坦性の確保と、施工性やメンテナンス性も通常ILBと遜色なくできる革命的—レボリューション—な機能構造ブロックです。

耐荷性能強化(不陸抑制)

1. 耐荷性能が高く、不陸やガタツキが発生しにくい。
2. 通常ILBと同じ理論で、ブロック（製品）同士のかみ合わせではなく、荷重が掛かった際に目地へ充填した砂によってブロック相互のかみ合わせ効果（荷重分散効果）を発揮する仕組み。
3. 透水・保水・遮熱・非透水ILB（研磨・洗い出し・ショット・ブレーン）にレボルの機能をプラスアルファするだけなので、製品のテクスチャーや貼りパター、組み合わせ等、通常ILBと同じように対応可能。
4. 通常ILBと同様の施工性及びメンテナンス性。



LAERA



詳しくはホームページを
ご覧ください
<https://www.laera.jp>

〒110-0015 東京都台東区東上野4-16-6 東西ビル東上野2階
TEL 03-5246-4896 FAX 03-5246-4846



インターロッキングブロック舗装をより強くする新たな機能構造提案

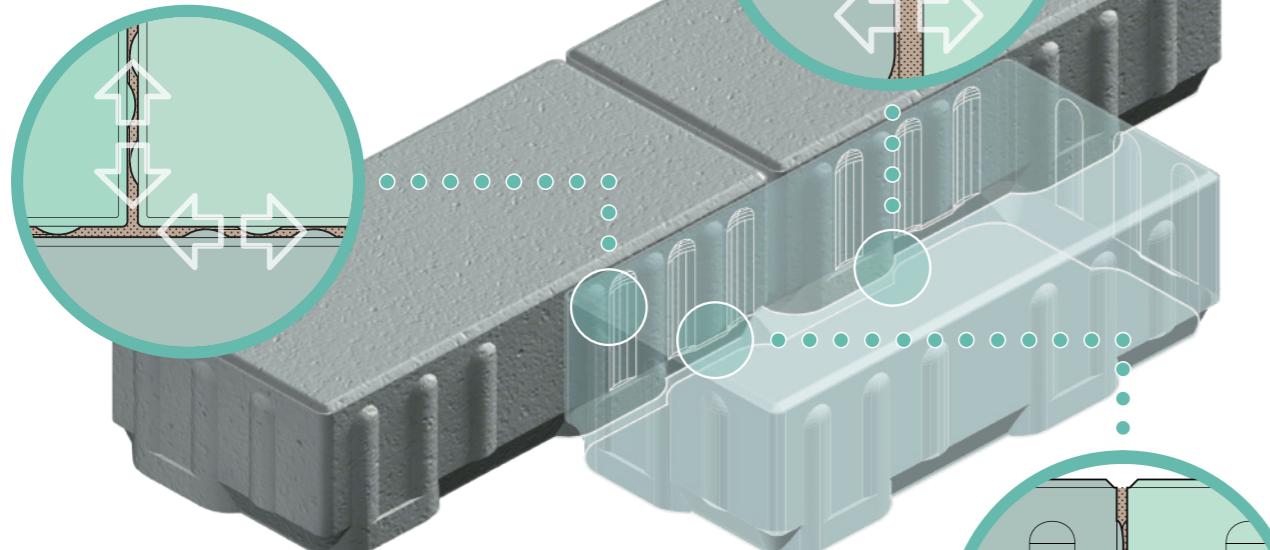
耐荷性能強化（不陸抑制）

Revolの機能性

インターロッキングブロックの原理原則に沿って耐荷性能を向上させることで、
不陸問題・がたつき問題・ねじれ問題を解決しました。
かんごう
プロック同士の結合ではなく、通常の路盤構成のまま不陸抑制を強化し、長寿命かつ
メンテナンスが容易で再利用も可能、安心安全の歩行空間をつくるブロックです。

横ずれに強い噛み合わせ構造

たわむことにより、密な状態の目地砂にせん断変化が生じて目地砂が
体積膨張すると、水平方向へ圧縮力が発生します。この力が隣接する
ブロックの相互間へ伝達されることで平坦性が保たれ、横ずれに強い
構造となっています。



下支えする構造で不陸対策

敷き砂同様にブロックの安定性と平坦性を確保することができます。交通荷重を分散して路盤へ逃すと共に、荷重がブロックを締め固めることによる沈下で敷砂上部が目地砂の下部へ補充され、同時に路盤では目地砂から敷砂への供給も行われます。これらが繰り返されることでせん断変形が生じ、ブロックの
噛み合わせがより強固となる仕組みです。

普通インター同様の施工性の良さ

インターロッキング(interlocking)とは『かみ合わせる』という意味です。荷重によりブロック間の目地に充填された砂の働きで、ブロック相互のかみ合わせ効果(荷重分散効果)が得られる舗装ブロックです。抜き取りには若干の不便さがありますが、再利用することができます。

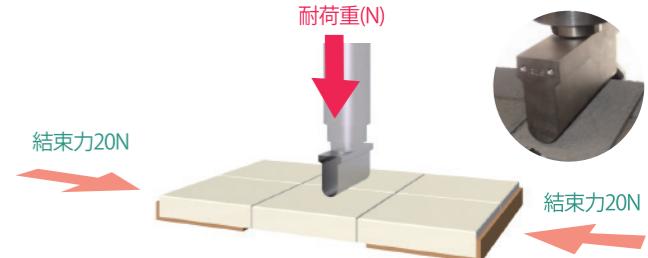
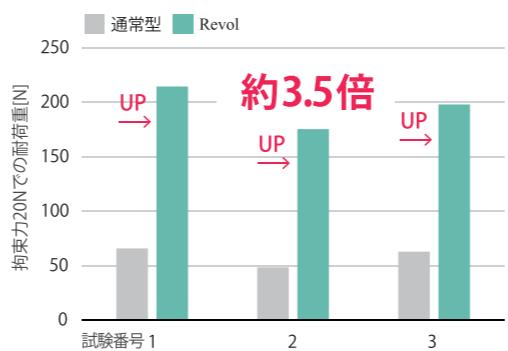
様々なテクスチャーに機能を追加

レボルは、ILブロックで表現できるテクスチャーに耐荷性能を追加したアイテムです。表面テクスチャー、模様、貼りパターンなどの縛りを受けず自由に表現可能。地域色のプランニングや、瓦やガラス等の再利用はじめとした既存天然石の骨材利用などのリサイクル対応もできます。

試験データ

試験名：耐荷性能評価試験 (LA-BLOCK Revol 縦横目地キープタイプ)

実施者：東京農業大学 地域創成科学科 竹内研究室



実施結果：

ILブロックの目地キープ同士が低い拘束力(20N)で接触している場合の目地部における耐荷性能を評価した。載荷方向に配置された横方向の目地キープにより、レボルは通常のILブロックに比べ約3.5倍の耐荷性能があるとわかった。新しいタイプの目地キープによる耐荷能力は、ブロックの拘束力が大きくなるほど向上することが期待できる。

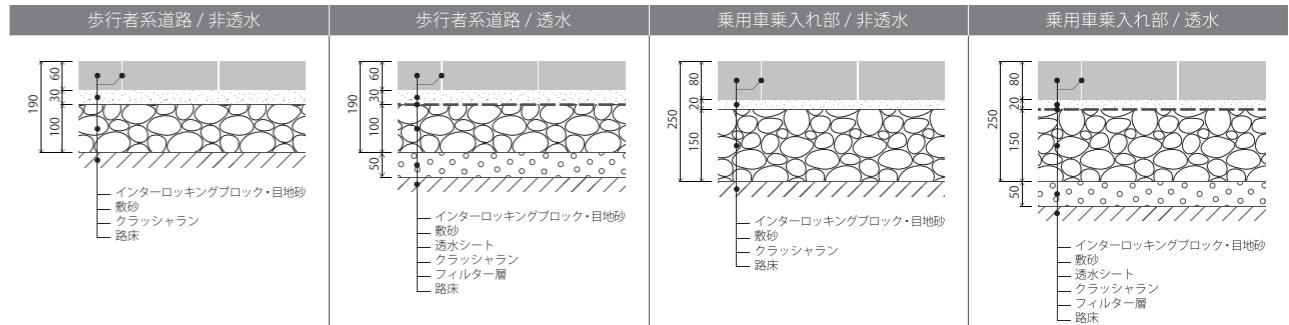
施工舗装構成

舗装ブロックの交通条件と品質規格値

記号	大分類	中分類	小分類	舗装ブロックの交通区分	
				歩道	車道
IL1	歩道	歩行者系道路	歩行者専用道路 自転車専用道路	3.0以上	40以上
			自転車歩行者専用道路 公園道路、広場、住宅の駐車場など		
IL2	車道	管理用車両乗り入れ部	最大積載量6.5t未満の管理用車両が走行する道路	5.0以上	60以上

*インターロッキングブロック舗装設計施工要領に準拠
*200×100サイズの場合

参考施工断面図



*歩行者系道路：歩行者専用道路、自転車専用道路、自転車歩行者専用道路、公園道路など
*乗用車乗入れ部：駐車場・歩道などの車道乗入れ部（乗用車対象）、最大積載量6.5t未満の管理用車両が走行する道路

参考施工手順

規格名称	施工手順(人工)					
	世話役	ブロック工	特殊作業員	普通作業員	サンドクッション	目地砂
歩行者系道路	1.3	2.4	0.5	3.1	3.9	0.037
管理用車両乗り入れ部	1.3	2.4	0.5	3.1	2.6	0.061

(100m²当たり)

Pattern variation

方向性を問わず様々なパターンで対応可能です。

